

会議録

審議会等名	令和3年度第2回つくばみらい市国民健康保険運営協議会
開催日	令和3年7月29日(木)
開催場所	つくばみらい市役所 伊奈庁舎3階 大会議室
出席者	出席者 小田川市長(途中退席) 出席委員 中山 栄一、染谷 礼子、守谷 智明、鈴木 美和子、 小菅 新一、青木 一郎、横張 雅彦、岡本 善隆、飯塚 伸泰 欠席委員 無 事務局 須加尾保健福祉部長、明都国保年金課長、嶋田課長補佐、 飯泉主査、沼尻主査、尾内係長、興津主事
議案	辞令交付 会長及び会長代理の選任 会議録署名委員の指名 報告事項 ・令和2年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算見込について ・その他 国民健康保険税賦課方式の2方式化について
議案概要	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 午後1時30分 明都課長 ・辞令交付 市長から各委員へ ・市長あいさつ 小田川市長 ・会長及び会長代理の選任について 会長 染谷 礼子、会長代理 中山 栄一 ・会長あいさつ 染谷会長 ・会議録署名委員の指名 鈴木委員、横張委員 <p>・報告事項 (1) 令和2年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算見込について、事務局より説明し、承認を得た。</p> <p><質疑等> 横張委員 今回だと、3億4千900万円の基金積立てを行っている。現在どれくらいの基金があって、どこまでの積立てを予定しているのか、あるいはどこまでいったら積み立てなくて、その分をどこかに還元するのか、そのような指針等があったら教えてもらいたい。</p>

	<p>事務局 基金の保有額については、令和2年度末で約7億6千万円、令和3年度も当初予算で積立てを予定しているの、令和3年度末には約10億円になる予定である。県の納付金は、激変緩和措置により、本来納めるべき金額より低く設定されており、将来、その激変緩和措置が終わったときに、保険税の税率の見直しが必要になってくるかと思われる。そのときに、急激な上昇にならないように、基金を使っていくという形で、今は剰余金が出たときは、保険税に還元するのではなく、基金として積み立てる形にしている。また、今年度2方式について、委員に審議をお願いするが、その中には、税率の設定とともに、基金をどのように使ったらいいかということも含めて、審議をお願いしたいと考えている。</p> <p>横張委員 いつまで積立てを予定するということは、今のところ未定で、激変緩和措置がなくなるまで積立てを続けるということに理解してよいか。</p> <p>事務局 地方財政法では、剰余金については、2分の1を下らない範囲で、積み立てなければならないという規定がある。そのため、法律に基づいた金額は積み立て、それ以外にも基金から発生した利息も積み立てている。令和4年度の税率の改正を検討するに当たり、基金を積み立てるだけでなく、基金の取崩しも含めて、審議をお願いしたいと考えている。いつまで積むということは、今の段階では答えることができない。</p> <p>(2) その他で、国民健康保険税賦課方式の2方式化について、事務局より説明した。</p> <p><質疑等> なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は、10月7日午後1時30分に開催予定 ・ 閉会 午後2時30分 明都課長
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴人 無</p>

以上、上記議事を明確にするため、この会議録を作成し、会長及び会議録署名委員が次に署名捺印する。

会 長

会議録署名委員

会議録署名委員